ＪＳＡＦ加盟・特別加盟団体御中

平成２９年７月１２日

専務理事　鈴木　修

理事　ＪＳＡＦ障がい者セーリング推進委員会

高間　信行

JSAF障がい者セーリング中期事業計画（策定中）に基づく

JSAF強化拠点、強化艇種の選定について

記

１．強化拠点の選定について

（１）現在、障がい者セーリング推進委員会では、全国での障がい者セーリング普及・推進・強化のための中期事業計画（別紙１）を策定中であり、その一環としてJSAFとしての強化拠点、強化艇種の選定を行うことを計画している。

（２）強化拠点では、次の活動を行うこととする。

①2024パラリンピック競技大会におけるセーリング競技復活を目指し、メダリストを育てる活動を行う。具体的には、次のとおり。

②強化拠点が所有するボート、ヨットを活用して、選手強化のための合宿、練習、講習を行う。

③国際レース（ワールドカップ、パラワールド）等で上位に入る選手を養成するとともに、各候補選手の競技力の判定を行う。

④強化計画に使用する艇は、JSAFが強化艇種として選定する艇とする。

⑤上記活動を通して、地域の障がい者セーリング競技の拠点となること。

⑥強化拠点における障がい者用設備の整備のため、行政を含めた関係各位に働きかけること。

２．障がい者セーリング強化拠点選定条件

（１）原則としてJSAFの加盟団体もしくは特別加盟団体であること。

（２）マリーナ障がい者用設備指針をクリアーすることを予定していること。

（マリーナ障がい者用設備指針は、平成 29 年10月ごろ国交省の協力を得て策定公開予定。この設備指針をクリアーするために、JSAFとともに行政（都道府県）に働きかけを行うこと。）

（３）パラセーリングアソシエイト、パラセーリング指導員、パラセーリングコーチの体制を整備すること。

（４）強化艇（ヨット）、救助艇等を、障がい者セーリング推進委員会及び強化拠点が共催実施する強化合宿等に貸し出せること。

（５）強化選手のヨットを持ち込める借用スペースを確保すること。

（６）近隣に障がい者対応の宿泊施設があること。

（７）その他、強化合宿、強化練習では、推進委員会が今後策定承認する基準、ガイドライン等に従うこと。

（８）反社会勢力と関係がないこと。

（９）強化活動計画、活動実績を障がい者セーリング推進委員会へ定期的に報告すること。

３．JSAF強化拠点に対する障がい者セーリング推進委員会の取り組み

（１）JSAFが今後調達する予定の強化艇種の重点配備

（２）強化活動資金確保のための、協賛金等募集の共同実施、

（３）産官学、マスコミ等への広報活動の共同実施等

４．強化拠点選定手続き（日程）

（１）JSAF障がい者セーリング推進委員会による公募。

（２）強化拠点立候補団体において、上記選定基準をクリアする計画書の障がい者セーリング推進委員会への提出。（計画書（別紙２）

（３）計画書提出期限：平成２９年７月２８日（金）

（４）計画書提出先：障がい者セーリング推進委員会事務局　高間　信行（nob@iis.u-tokyo.ac.jp）

（５）障がい者セーリング推進委員会において、計画書の精査（実地調査含む）の上、強化拠点候補を選定（平成２９年８月２日（火）：予定）

（６）強化拠点候補の理事会付議、決定。（平成29年9月理事会：予定）

（７）強化活動の開始

５．強化艇種の選定について

（１）2017年10月以降日本で開催される予定のセーリングワールドカップ、及び2020年パラワールドチャンピオンシップ成功へ向けて、ワールドセーリング（WS、国際セーリング連盟）がセーリングワールドカップ、パラワールドにおける採用艇としている艇のうち、Norlin2.4OD（一人乗りキールボート）、Hansa303（一人乗りセンターボード艇）をJSAF最優先選定艇種とする。

（２）同じくWSが採用しているWetaについては、今後のWSの動向、及び上記強化艇種の改善状況を考慮して、JSAFとしての強化艇種選定時期を判断する。

（３）強化艇種についても、上記強化拠点の選定と同様に、理事会へ付議の上決定。（平成２９年９月３日理事会：予定）

以上

**別紙１　　　　【JSAF障がい者セーリング推進委員会中期事業計画（案）】**

平成29年4月13日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Hansa 303 | Norin2.4 OD | Weta |
| 目標 | ハンザワールド広島大会成功・日本選手上位入賞【50艇確保】【Hansa 2.3 20艇確保】 | ワールドカップ日本大会成功・日本選手上位入賞【10艇確保】 | ワールドカップ日本大会成功・日本選手上位入賞【10艇確保】 |
| 強化方針及び確保艇の活用方法 | JSAF障がい者セーリング強化計画策定（JSAF理事会承認）JSAF強化艇種指定・強化拠点指定選手・指導者の強化艇種への移行国際大会（パラワールドセーリングワールドチャンピョンシップ）への選手・指導者の計画的派遣 |
| 2017年度活動計画 | １．2017年10月テストイベント大会成功２．2018年広島大会準備**３．日本財団随時申請****（JSAF連携）（可及的速やかに）*** 1. 2017年10月テストイベント大会用艇確保（Hansa303-50艇）（Hansa2.3 - 20艇を含む。）
	2. 強化拠点重点配備計画策定（JSAF連携）
 | １．協賛企業等獲得活動早期着手２．ワールドカップ愛知大会実現へ向けた取組。①愛知大会実行委員会との情報共有②大会成立要件（10艇確保、国内・海外参加者10チーム）クリア策検討３．艇種別協会立上げ**４．2018年度日本財団助成申請準備（申請：2017年9月目標）*** 1. JSAF強化拠点指定

②JSAF強化艇種指定 | １．国際セーリング連盟方針確認 |
| 2018年度活動計画 | * + 1. 広島大会成功
		2. 強化拠点への艇再配置実施
 | １．ワールドカップ（江ノ島）大会成功 | **（ワールドカップ採用艇種選定時期確認の上、以下を実行）**①強化艇種、拠点指定* 1. 日本財団申請準備
	2. 日本財団助成申請
	3. 艇種別協会立上げ
 |
| パラワールドセーリングワールドチャンピョンシップ日本大会　準備 |
| 障がい者セーリング推進普及及び選手強化 |
| 国際大会（パラワールドセーリングワールドチャンピョンシップ）への選手・指導者の派遣 |
| ワールドセーリング　パラリンピック・ディベロプメント・プログラム（PDP）– Japan開催選手、指導者の育成 |
| 2019年度 | 障がい者セーリング推進普及及び選手強化 |
| ワールドカップ（江ノ島）大会成功 |
| パラワールドセーリングワールドチャンピョンシップ日本大会　準備 |
| 障がい者セーリング全日本大会　開催選手強化、指導者（クラス分け委員含む）育成 |
| パラワールドセーリングワールドチャンピョンシップへの選手・指導者の派遣 |
| 2020年度 | 障がい者セーリング推進普及及び選手強化 |
| 障がい者セーリング全日本大会　開催選手強化、指導者（クラス分け委員含む）育成 |
| ワールドカップ（江ノ島）大会成功 |
| パラワールドセーリングワールドチャンピョンシップ日本大会　成功 |
| 2021年度 | 障がい者セーリング推進普及及び選手強化 |
| 障がい者セーリング全日本大会　開催選手強化、指導者（クラス分け委員含む）育成 |
| ワールドマスターズゲームズ2021関西　障がい者セーリング　成功 |
| パラワールドセーリングワールドチャンピョンシップへの選手・指導者の派遣 |
| ワールドセーリング　パラリンピック・ディベロプメント・プログラム（PDP）– Japan開催選手、指導者の育成 |
| 2022年度 | 障がい者セーリング推進普及及び選手強化 |
| 障がい者セーリング全日本大会　開催選手強化、指導者（クラス分け委員含む）育成 |
| ワールドカップ参戦 |
| パラワールドセーリングワールドチャンピョンシップへの選手・指導者の派遣 |
| 2023年度 | 障がい者セーリング推進普及及び選手強化 |
| 障がい者セーリング全日本大会　開催選手強化、指導者（クラス分け委員含む）育成 |
| ワールドカップ参戦 |
| パラワールドセーリングワールドチャンピョンシップへの選手・指導者の派遣 |
| ワールドセーリング　パラリンピック・ディベロプメント・プログラム（PDP）– Japan開催選手、指導者の育成 |
| 2024年度 | 障がい者セーリング推進普及及び選手強化 |
| 障がい者セーリング全日本大会　開催選手強化、指導者（クラス分け委員含む）育成 |
| パラリンピックセーリング種目復活／日本選手出場 |

別紙２　　　　　　　　　　障がい者セーリング推進のための強化拠点計画書

公益財団法人日本セーリング連盟

障がい者セーリング推進委員会御中

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　団体名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 代表者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　下記のとおり、障がい者セーリング推進のための強化拠点としての計画書を提出します。

記

１．計画概要（選定要件）

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 計画内容（選定要件をクリア、もしくは計画していることを具体的に記載） |
| マリーナ障がい者用設備指針をクリアーすることを予定していること。 |  |
| パラセーリングアソシエイト、パラセーリング指導員、パラセーリングコーチの体制を整備すること。 |  |
| 強化艇（ヨット）、救助艇等を、障がい者セーリング推進委員会及び強化拠点が共催実施する強化合宿等に貸し出せること。 |  |
| 強化選手のヨットを持ち込める借用スペースを確保すること。 |  |
| 近隣に障がい者対応の宿泊施設があること。 |  |
| 強化合宿、強化練習では、JSAF障がい者セーリング推進委員会が承認する基準、ガイドライン等に従うこと。 |  |
| 強化活動計画、活動実績を障がい者セーリング推進委員会へ定期的に報告すること。 |  |

※必要に応じて、補足説明資料等を添付のこと。

1. 障がい者セーリング強化拠点実施管理責任者

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 所属（加盟団体役職） |  |
| 連絡先（電話） |  | 連絡先（メールアドレス） |  |

1. 提出締切：平成２９年７月２８日（金）
2. 提出先：障がい者セーリング推進委員会事務局　高間　信行（nob@iis.u-tokyo.ac.jp）

以上